

市民活動補助事業を決定しました

市民活動補助事業とは？

市民団体が、地域のため、社会のために自主的に取り組む市民活動等の事業を推進するための公募型補助制度です。下野市自治基本条例の基本理念である「市民が主役のまちづくり」を目的としています。

申請のあった事業は、陣内教授（宇都宮大学）を会長とする選考会で、公益性や発展性等を審査し、定められた基準を満たした事業に補助金を交付します。

令和2年度の補助事業が決定

今年度は13事業への補助を決定しました。11事業が昨年度からの継続、2事業が新規です。市の魅力発信や環境保全、子どもの健全育成に関する活動などを行う団体が対象となりました。

この補助をきっかけに、まちづくりの原動力となる活動が継続して実施されていくことが期待されます。



選考会の様子

市民活動補助事業一覧

事業名（団体名）	事業内容	コース
日光街道一部赤道の整備と下石橋一里塚の保全保護事業（下野市日光街道一里塚保存会）	東日本で唯一連続して現存する一里塚について、市の貴重な財産としての認識を促し、文化財保護意識を醸成する。景観保全保護のため周辺環境を整備するとともに、啓発活動として企画展などを開催する。	継続 2年目
仁良川ふれあい強化事業（仁良川レクリエーション広場を作る会）	仁良川地区は転入者が多いことから、地域参加のきっかけ作りのため、多世代間の交流ができる軽スポーツ・夏祭りイベントを定期的に開催する。事業効果を上げるため、コミュニティや育成会などの各地域団体の協力を得ながら、一体感を醸成し、住みよい地域づくりを目指す。	継続 5年目
けんこう広場 de マルシェ事業（けんこう広場 de マルシェ実行委員会）	「団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュニア世代」の参加を促進し、新たな多世代間交流の場としてマルシェイベント「みんなのマルシェ in けんこう広場」を開催し、世代をつなぐ暮らしやすい地域づくりを目指す。また、イベント運営に小中高校生の協力を得るなど、市民の活躍の場の拡大に努める。	継続 3年目
ゆうがお混声合唱の集い（下野混声合唱団）	近接市において活動する混声合唱団を本市に招聘し、合唱の集いを開催する。他市団体との交流を深めるとともに、市民に質の高い合唱文化を提供し、地域資源などの発信により、広域連携の進展に資する。	継続 4年目
民話で巡るふるさと下野市（民話語り部の会「ゆうがお」）	その地にまつわる伝説や昔話を語り部の語りで聴きながら、本市に数多くある史跡や神社仏閣を訪ね、歴史的遺産の価値と魅力を発信する。また、若い世代や親子に本市の史跡と民話を融合させたライブ体験をしてもらうことで郷土愛の醸成に繋げる。	新規 1年目
しもつけオープンガーデン推進事業～おもてなしの心をお庭に込めて～（しもつけオープンガーデンクラブ）	個人や企業等団体の庭を一般に公開する「オープンガーデン」を開催し、市内の景観向上と市内外の交流人口増を図る。また、講座等の開催により、オープンガーデンに参加するオーナーを増やすほか、ガーデンオーナーの栽培管理技術の向上を図る。	継続 3年目
下野市グリーンクラブウクレレ教室の開講事業（下野市グリーンクラブ）	主にグリーンタウン地域の高齢者を対象にウクレレ教室を定期的で開催し、音楽を通じた交流サロンとしての定着を図る。年間を通じて福祉施設等の慰問活動やイベントでの演奏発表を行うなど、地域の一員としてあたたかなまちづくりに取り組む。	継続 5年目